

三種・浜口小で栽培のサツマイモ使用 **パンとプリン大人気**

地元で児童販売、28日も



接客に当たる浜口小の児童

三種町の浜口小学校（74人、大山正道校長）の4、5年生計24人が22日、自分たちで栽培したサツマイモを使ったパンとプリンを、同町浜田の八竜ショッピングセンターポポロで販売した。用意した各100個が15分余りで完売。28日には6年生が販売する。

同校では毎年、全校児童がグラウンド脇でサツマイモを育てている。2021年からは4～6年生がサツマイモの商品を考案。そのアイデアを基にポポロ内のパン販売店「メルシィ」が試作し、商品化している。

今年はサツマイモのあんがたっぷり入った「しっとりさつまあんパン」（170円）、濃厚なサツマイモのソースがかかった「元気UPさつまいもプリン」（200円）、サツマイモのクリームをデニッシュ生地で包んだ「サクうまさつまデニッシュ」（170円）の3品を製造した。

22日は午前11時の販売開始前から30人以上が列を作った。児童は呼び込みや接客、袋詰めなどの役割に分かれ、「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」「ありがとうございました」などと元気よく声をかけていた。

接客を担当した畠山葵丞さん（4年）は「たくさんの方が来てくれたし、すぐ売り切れてうれしかった。どれもおいしいので食べてみてほしい」と話した。



28日は6年生が午前11時からポポロでデニッシュとプリンを各100個販売する。

（斉藤慎太郎）

（令和5年11月26日（日）秋田魁新聞より一部抜粋）